



厳しい状況が続く日本の輸出環境

調査研究部 木下 茂

○輸出に足元下げ止まりの兆し

18年度入り後低迷が続いてきた日本の輸出であるが、直近データでは下げ止まりの兆しが窺われる。輸出数量の動きをみると、6・7月と2か月連続で前月に比べ増えたほか、4～6月と比べた7月の増加率は+2.5%と相応の伸びとなった（季調値ベース、**図表1**参照）。また、地域別の動向をみると、先進国向けが底堅く推移する中で中国を含むアジア向けが緩やかながら増加に転じつつある点が目を引く（**図表2**）。

以下では、こうした動きが持続的なものであるのかを考えるため、世界経済の動向を含む日本の輸出をめぐる環境について、種々のデータを参照しながら確認してみよう。

○世界経済は減速が続く、持ち直しのタイミングは後ずれのリスクも

世界経済全体としては、足元まで減速が続いているとみられる。グローバルな製造業の景況感指数は直近7月分まで低下が続いている。内訳をみると、新興諸国は春先以降横ばい圏内の動きとなっているものの、このところはむしろ先進国の悪化が目立つ展開となっている（**図表3**）。実際の貿易動向に関する指標をみても、世界貿易、物流動向を示すコンテナ指数とも低迷が続いていることがわかる（**次頁図表4**）。

ここで、世界経済の先行きについて、7月に公表されたIMFによる見通しをみると（**次頁図表5**）、世界の成長率は2020年にかけて上向き見込みとなっている。もっとも、

(図表1) 輸出入数量指数の推移(季調値)



(図表2) 地域別輸出数量指数の推移(季調値)



(図表3) 世界の企業景況感推移(製造業PMI)



米国や中国の成長率は来年も低下が見込まれていることに加え、米中貿易摩擦の一段の激化や英国のEU離脱に伴う混乱のリスクを考えると、世界経済の持ち直しのタイミングは後ずれする可能性が高いだろう。特に、現状世界的に政策面での不確実性が高まっており、これが企業や消費者のマインドを下押し



するリスクがある（図表6）。

○ I T関連需要も下げ止まりの動き、ただ本格回復は期待しにくい

次に、世界的な I T 関連需要の動きをみる。ここでは台湾と韓国の電子部品生産、及び世界の半導体売上高をとりあげる。まず、前者については、19年入り以降反転・上向きの動きとなっている（図表7）。また、後者についても、足元下げ止まりの動きを示している（図表8）。世界的な I T 関連需要の低迷はこれまで日本の鉱工業生産の下押し圧力となってきたことを考えると、この点はポジティブに捉えられよう。

もっとも、半導体売上高につき、統計的手法によって短・中期の循環成分の抽出をおこなってみると、足元の動きは短期循環の反転の影響を受けたものであり、中期循環は依然下向きであることがわかる。この点からすれば、目先半導体需要が上向いたとしても、本格回復には至らない可能性が高いだろう。

以上、一部の指標には下げ止まりから反転の動きが窺われるものの、先行きのリスク要因も含めると日本の輸出環境は依然厳しく、輸出全体としても目先慎重にみておくべきではないかと思われる。

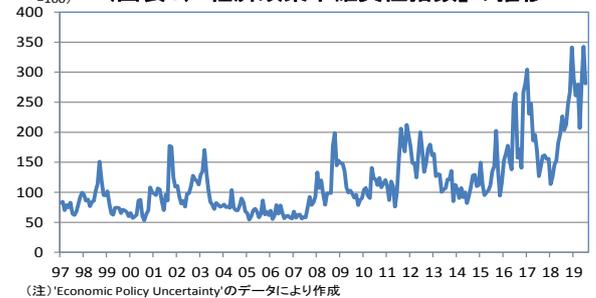


(図表5) IMFによる世界経済成長率見通し(%, %pt)

		2018	2019 (予測)	2020 (予測)
世	界	3.6	3.2 (-0.1)	3.5 (-0.1)
先 進 国	米 国	2.2	1.9 (0.1)	1.7 (0.0)
	ユ ー ロ 圏	2.9	2.6 (0.3)	1.9 (0.0)
	日 本	1.9	1.3 (0.0)	1.6 (0.1)
	英 国	2.6	0.9 (-0.1)	0.4 (-0.1)
	ASEAN	1.4	1.3 (0.1)	1.4 (0.0)
発 展 途 上 国	ロ シ ア	4.5	4.1 (-0.3)	4.7 (-0.1)
	中 国	2.3	1.2 (-0.4)	1.9 (0.2)
	イ ン ド	6.6	6.2 (-0.1)	6.0 (-0.1)
	ASEAN	6.8	7.0 (-0.3)	7.2 (-0.3)
	ブラジル	5.2	5.0 (-0.1)	5.1 (-0.1)
	南アフリカ	1.1	0.8 (-1.3)	2.4 (-0.1)
		0.8	0.7 (-0.5)	1.1 (-0.4)

(注1) 2019、2020年のカッコ内は前回4月見直しからの修正幅
(注2) IMF “World Economic Outlook July 2019 ” のデータより作成

(97-15年平均=100) (図表6)「経済政策不確実性指数」の推移



(CY15=100) (図表7)台湾・韓国の電子部品生産(季調値)



(図表8)世界半導体売上高の推移(季調値)

